

寄せられた感想（令和元年度実施分）

※抜粋

◆被爆体験伝承講話

○小田原市立鴨宮中学校（神奈川県）

令和元年5月9日 585名

ご自身が体験なさったかのような、とても気持ちのこもった話し方をされていました。生徒たちは、原子爆弾の恐ろしさや当時の人々の心情等をイメージすることができたのではないかと思います。



○井手町立多賀小学校（京都府）

令和元年5月28日 17名

まるで原爆が投下されたときにタイムスリップしたかのように、子どもたちは、お話しされている世界に引き込まれていきました。身近な親族の方のお話や伝承された方からの体験談が中心でしたので、戦争の事実だけでなく、そのときの「思い」を知ることができました。



○今治市立伯方小学校（愛媛県）

令和元年6月5日 29名

「平和を守るためにはやさしい心、思いやりの心が大切」という言葉が印象に残りました。児童は「戦争は怖い」だけではなく、「平和のために自分ができることを頑張ろう」という前向きな気持ちをもって講話を終えることができました。落ち着いた声色でとても聞きやすく、涙ながらに話されていてとても心に残りました。



○北広島市大曲東小学校（北海道）

令和元年7月19日 156名

北広島市西の里小学校（北海道）

令和元年7月20日 228名

その当時、どんなことが起こったのかを、一人の少年の体験に基づき、丁寧にリアルにお話しただいて、戦争や原爆の恐ろしさ、命の大切さを勉強することができる大変有意義なものとなりました。小学校5、6年生の児童に対して、とても寄り添ってわかりやすくお話しいただきました。最後の質疑応答もとても丁寧でした。

※北広島市がとりまとめ2校で開催。写真は西の里小学校の風景。



○播磨町立播磨南小学校（兵庫県）

令和元年10月18日 66名

広島の街がどのぐらいの範囲で原爆の被害に遭ったのかを、子どもたちにも理解しやすいように、自分たちが住んでいる町に当てはめた資料を使うなど、随所に工夫なされており、子どもたちが真剣に話しに聞き入る様子が見られました。常に子どもたちの様子を伺いながら、話を分かりやすく説明していただきました。



○都立東大和高等学校（東京都）

令和元年11月20日 287名

パワーポイントで写真やイラストを見て説明を受けることで、より一層理解を深めることができました。聞き取りやすい話し方で、当時の人の思いや気持ちをお話しされた時は、それが目に浮かぶような話し方で、とても感動しました。実際の写真を見せる時には生徒の心情に配慮したお声がけもいただき、大変良かったです。



◆被爆体験記朗読会

○美浜町立美浜中学校（福井県）

令和元年5月16日 89名

一言ひとことに込められた作者の思いの深さを感じました。「悲しい、苦しい、辛い」といった負の感情を表す言葉がなく、淡々とした事実の積み重ねから、戦争が人々にどんな現実を突きつけたのか、その重さが胸に迫りました。朗読を聞いた生徒たちは、体全体で朗読に向かっていったように思います。心を揺さぶられたからこそその姿勢であると感じました。



○名護市立真喜屋小学校（沖縄県）

令和元年6月16日 120名

慰霊の日(6/23)に向けて、沖縄戦の講話・映像等から平和について学習してきました。今年は広島への被爆を知ることから始めました。悲しさを耳で聞き、頭で光景を描き、心で思いをつづることのできる朗読で感動しました。朗読体験は子どもだけでなく、教師、保護者も参加して交流でき、とてもよかったと思いました。沖縄戦とは違う角度から平和を考えるいい機会になりました。



○田村市立船引南中学校（福島県）

令和元年7月4日 25名

教室に響き渡るように、ゆっくりと、そして感情豊かに朗読していただきました。詩の作者の当時の状況を話した後で、詩の朗読をしていただいたので、想像を巡らせながら聞くことができました。真剣に聞き、涙を流している生徒も見られました。生徒は被爆者の方のさまざまな思いを知ることができたと思います。



○那賀町立鷺敷中学校（徳島県）

令和元年12月1日 88名

DVD を視聴することで、一瞬にして原子爆弾によって広島市内が悲惨な状況となったことを視覚的にとらえることができました。また、その上で体験記を聴く・読むことで、家族を思いながら、苦しみ死んでいく様子が想像される内容の詩でした。詩と詩の間に平和に対する思いや命の大切さを語ってくれたり、生徒へ問いかけてくれたりすることでより理解が深まったと思います。



○新見市立千屋小学校（岡山県）

令和元年12月3日 30名

心に響く語り口調で、当時の悲惨な様子が目に浮かび、二度と原爆が使われない世の中にしなければと感じました。一つ一つの詩の紹介の後、初めて耳にする語句や筆者の思いについて解説し、とても分かり易かったです。優しく感想をお聞きくださり、また、実際に朗読を体験させてくださったことで、児童が平和の大切さを自分事として考えることができました。



○南アルプス市立若草中学校（山梨県）

令和元年12月17日 150名

体験記や原爆詩の朗読によって、お一人お一人の被爆された場所や当時の状況が詳しくわかりました。また、その時どんな心情であったかも感じとることができました。朗読と朗読の間に話していただいた内容も非常に興味深く聞きました。教師としてはもちろんですが、子どもを持つ親としても本当に身につまされる内容でした。

